

世界に平和を・戦争の基地はいらない

羽村平和委員会発・横田基地ミニ情報 2013.10.15 No.179 連絡先 FAX 042-555-1911



CV22オスプレイいらない！ 沖縄とともにたたかおう 市民交流集会



10月12日、福生市民会館で、「横田基地もいらない！ 沖縄とともにたたかおう 10・12 市民交流集会」が開催されました。

午前10時から、「流血の記録 砂川」のDVD上映と解説。同時刻からマイクロバスの「基地めぐり」は2回運行されました。DVD上映も、基地めぐりも、大盛況でした。

午後からの講演は、前泊博盛氏、52歳。「琉球新報」論説委員長を経て、現在は沖縄国際大学大学院の教授です。

米兵が交通事故を起こしても「太陽がまぶしかったから」との理由で無罪になったのはなぜ、沖縄の全市町村が反対しているのになぜオスプレイが配備されたのか、「琉球新報」の号外を掲げながら、会場に問いかけました。沖縄・高江ではオスプレイのヘリパッドの建設が進められ標的の村となっているが、かつては村民をベトナム人に仕立て、標的とした、しかしいまや高江だけではない、沖縄全体が、そして日本全土が標的の的になっている、と語りました。そうなんです。いま、日本国民みんなが立ち上がる時なんです。時間がなくて、日米地位協定の話が十分できなかつたと前泊さんは講演後話されていましたが、前泊博盛著「日米地位協定入門」を、ぜひ読んでください。集会後は、「去年より多いね」と言われたデモ行進で、横田基地沿い、福生の繁華街(?)を通り、福生駅近くの福生公園で、解散しました。ご苦労様でした。



10月7日(月)～11日(金)まで Readiness Week (即応準備週間)

横田基地におけるあらゆる緊急事態への対応能力を高めることを目的とした演習・Readiness Week (即応準備週間)が、10月7日(月)から11日(金)までの5日間、行われました。

10日(木)には EME・緊急管理演習(大地震、航空機事故、バスと航空機との衝突事故、踏切における電車とバスの衝突など様々な状況を想定した、重大事故における対応訓練)が実施され、即応準備週間中には数機による編隊飛行やパラシュートによる砂袋等の投下(右上の写真)も行われました。

右は米軍横田基地のホームページにアップされた写真です。この写真には、飛行士は横田基地で10月8日、部屋をクリアする方法について訓練、などと書かれています。

その他、「準備週：空中 Herts」には8日に、C-130が富士山の近くまで行ったり、横田基地でパラシュート投下する写真などが、「準備週：危機管理」には航空従事者の対応力をテストするために複数の緊急管理シナリオを実施した、と被害者を支援している写真などがアップされています。これらは、大規模な準備ウィークの一部であったそうです。



CV22 オスプレイ横田基地配備反対！の意見書 13 議会 (No. 179 の裏面)

CV22 オスプレイ横田基地への配備検討の撤回を求める意見書、その後分かった情報です。

- ★ 国立市議会：(9月26日)「オスプレイの横田基地配備検討の撤回を求める意見書」を賛成多数で可決。(衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、内閣官房長官、外務大臣、防衛大臣、都知事宛)
- ★ 日野市議会：(9月27日)「オスプレイの横田基地配備検討の撤回を求める意見書」を賛成少数で否決。賛成7(民主市民ネットワーク2、共産4、無党派1)、反対16(民主市民ネットワーク4、自民クラブ7、公明党5)。(「～配備検討に関し、周辺住民への配慮を求める意見書」多数可決)
- ★ 町田市議会：(10月8日)議会事務局によると、賛成少数で否決されたそうですが詳細不明。

三多摩地域で意見書を可決した議会は、①八王子市、②青梅市、③羽村市、④武蔵村山市、⑤瑞穂町、⑥小金井市議会、⑦福生市議会、⑧あきる野市議会、⑨清瀬市議会、⑩立川市議会、⑪東村山市議会、⑫昭島市議会、⑬国立市議会の、12市1町の議会でした。

一方、否決されたのは、①西東京市議会、②日野市議会、③町田市議会の3市議会でした。

オスプレイ アフガンで重大事故 隠ぺいか 「機体被害なし」と処理

米海兵隊は今年、垂直離着陸機MV22オスプレイが最も重大な、損害額200万ドル以上または死者発生「クラスA」事故を2件起こしたことを明らかにしていますが、これ以外にも「クラスA」に相当する事故が発生していることが分かりました。(10月11日付「赤旗」より)

元海兵隊大尉で軍事評論家のカールトン・メイヤー氏によれば、事故が発生したのはアフガニスタンで、日時などは不明。着陸した際、機体左側のスポンソン(張り出し)が胴体から外れ、修理不能に。しかし、事故は「機体に被害なし」「飛行士の操縦ミス」として処理されたといえます。メイヤー氏は、「同様の事例はアフガンで数多く発生している疑いがある」と指摘しています。

台風避難か 沖縄から3日と4日に MC-130・KC-135など 18機が飛来

10月3日夜から4日夜にかけて、KC-130J 空中給油機が2機(白っぽい機体)、MC-130 特殊作戦機(手前の機体)等が7機、KC-135 空



中給油機が8機、RC-135W 偵察機が1機、沖縄の普天間基地や嘉手納基地から飛来し、8日に帰りました。(写真：米軍横田基地HP)

右は MC-130H コンバットタロン特殊作戦機。鼻が出っ張り、機体の下が白っぽい。(MC-130の「M」はMultimissionを意味します。)



「2プラス2」関係者を乗せ横田基地に飛来したのは E-4BとC-40でした



前号で10月2日、米国防長官を乗せて横田基地に着陸したE-4Bの写真を載せましたが、夜だったので、10月4日午後1時近くに離陸した写真を左に載せます。この機体の全幅は59.64m、全長は70.51mと大きい。



前号で、国務長官は要人輸送機C-32に乗ってきたようです。とお知らせしましたが、要人輸送機はC-40Bでした。C-40Bは10月3日午後4時過ぎ離陸しました。この機体の全幅は34.32m、全長は33.63mです。C-130と比べると全幅は短く、全長は長い。